

## 日本のこれからのエネルギーについて

青森県立八戸工業高等学校  
電気科 2年 工藤 功貴

エネルギーは、私たちの日常生活において欠かせないものです。しかし、日本は今そのエネルギーの問題に悩まされています。これからの日本は、このエネルギー問題を少しずつでも解決することが必要になってきます。

日本のエネルギー問題の一番の原因は、化石燃料への依存だと思えます。その中でも日本は、温室効果ガスの排出が大きい石炭への依存が高くなっています。このまま石炭への依存を続けてしまうと、石炭の数も減り二酸化炭素を削減することが難しく、地球温暖化を防ぐこともまた難しくなってきます。2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」を達成させることを決めたため、石炭や他の化石燃料への依存を少なくすることが必要になってきます。これらの解決法の一つとして、再生可能エネルギーを中心とした非化石電源の構成比を大幅に拡大することがあげられます。主な再生可能エネルギーとして太陽光、風力、バイオマス、水力、地熱などがあります。この再生可能エネルギーを中心にしていくことはそう簡単なことではありません。少しずつ変えていくことが大切だと思えます。

再生可能エネルギーを中心にするには、各家庭へのソーラーパネル設置の推進、太陽光発電、風力発電、水力発電などをうまく利用することなど様々なことがあります。しかし、この取り組みはすべて可能ではありません。そこで、自分たちには何ができるかを考えることが大切です。たとえば電力会社の電気料金プランを再生可能エネルギー比率の高いタイプのものに切り替えて、二酸化炭素の削減と再生可能エネルギーの普及の両方に貢献するなどがあります。電気の無駄使いをしないのも自分たちでできることの一つです。誰もいない部屋は電気を消す。使っていないもの、今使う必要のないものの電源を落とすなど普段の生活の中でも、自分たちにできることはあります。このような小さなことの積み重ねが、これからの大きく左右するのではないかと私は思います。社会全体での話だけではなく、私たちみんなが協力して、節電などを行うことができるように意識をしていきたいです。

今あげてきた対策も大切ですが、私は一人一人がエネルギーについての知識をより深めることも大切だと思っています。今まであげてきた対策も、意味を理解している人が少ないと、その対策を行う人が増えないと思います。何のためにこのような対策を行うのか、自分が対策をして何に貢献できているのか。この二つだけでも知っておくべきだと思います。そこで、学校の授業でエネルギーのこ

とを学ぶのが一番いいと思っています。子どもの時から学んでおくことによって、大人になってからの考え方や行動が変わると思います。

その他にエネルギーに触れるために、水力発電や風力発電などを実際に見に行き、そこの人たちの話を聞いたりするのも一つの方法だと思います。しかし、知識を増やただけで行動に移すことができなければ意味がなくなってしまいます。最終的には、私たち自身の選択です。みんなが意識して行動に移すことができれば、エネルギー問題の解決だけでなく、SDGs の目標達成もゴールが見えてくると思います。

日本は今、化石燃料への依存をやめ再生可能エネルギーの普及が求められています。社会全体で行うこと、一人一人が行うこと、日本全体で手を取り合って、このエネルギー問題に立ち向かっていく。またエネルギーに関しての知識を深め理解する。そして私たちで行動する。このことが増えていくことを私は望んでいます。私たちの身近にあり生活には欠かせないエネルギー。そのエネルギーと向き合い考える。今まで述べたエネルギー問題解決のカギにより、日本のより良い未来への扉が開かれることを私は信じています。